

かほく あい こども園だより 12月号



令和6年11月29日 第9号
発行責任者 園長 志田 道広

元気に 外遊び 深〜い 学びの時間

1年の終わり12月を迎えます。12月に入ろうとしている今でも、陽のあたる日に窓から見える景色は秋もようといった感じです。振り返ってみると、今年は暑い日が長く続き（残暑？）、10月も半袖で過ごす日が多く、子ども達はそのおかげもあって11月も外で伸び伸びと自分の好きな遊びを楽しむ日が多くありました。今日も鉄棒や三輪車、砂遊びにボールけり、追いかけてこで築山を上り下りする子ども達もいれば、バトンをもって走り出そうとしている子もいます。バケツをもって虫捕まへのグループに、スコップをもって桜の木と戦っている子もいますね。みんな楽しそうです。

11月6日に県下の幼児教育関係者を対象に園の保育を公開しました。80名ほどの先生方が参観していかれましたが、「子どもたちが生き生きとしているね」「笑顔で伸び伸びと楽しそう」「好きな遊びに夢中になっている」といった感想、お言葉をたくさんいただきました。以前のお便りでもお話をいただきましたが、「遊び」「体験」こそが「学び」そのものという活動が展開されていたからと思っています。

子どもは「遊び」の中で多くのことを学びますが、私はその学びの中で「思考する」という点を大切にしたいという思いが強くあります。集団遊びの中では、プラスして「他者意識」「関係性」というところをポイントとして加えます。ですから大人である私が「わかったふりをして教えてはいけない」、「言い合い、トラブルを安易に仲裁してはいけない」と心がけています。これから進む義務教育下での子ども達の学習に向かう意欲、姿勢はこのような環境・場で身についていくのではないかなと思うからです。

外で鉄棒遊びをしている子の中に、逆上がりを何回も何回も、繰り返しやっている子がいます。それを見て、自分もとがんばっている子がいます。また、逆上がりをあきらめたのか、違う鉄棒技を考えているのでしょうか、ずっと豚の丸焼きのような形で鉄棒にぶら下がっている子がいます。それぞれが認められていいと思っています。

11月の にこにこ わくわく 〜0・1・2歳児 親子あいあいDay〜

ひよこ組、いちご組のおともだちは安心のいつもの場所にポットン。



さくらんぼ組さんはステージ発表も。おうちの方もニコニコ笑顔で記録撮影。





12月の予定



- 3日(火) クリスマスコンサート(年長児)
- 5日(木) スマイルオンステージ(年少児)
- 10日(火) スマイルオンステージ(年中児)
- 12日(木) 身体測定(年少・年中児)
- 13日(金) 身体測定(0・1・2歳児)
- 14日(土) スマイルオンステージ(年長児)
- 17日(火) 身体測定(年長児)
- 18日(水) 手作り弁当の日
- 20日(金) クリスマス・誕生会
- 24日(火) 人形劇鑑賞(年少・年中・年長児)
- 25日(水) かもしかクラブ(中)
- 26日(木) 避難訓練
- 27日(金) 布団・着替え袋持ち帰り日
- 29日(日)～1/3(金) 年末年始休園

年末年始のお休みについて

- ・12/29(日)～1/3(金)は年末年始の休園日となります。期間中、休日保育はありません。
- ・給食の食材発注の都合もあり、12月初旬に、コドモンのアンケートで年末年始休園前後の出欠の確認をさせていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。
- ・年末に持ち帰ったものは、年明け最初の登園日に持ってきてください。

防寒具について

防寒・転倒時の安全のため、防寒具のご準備をお願いします。(12月に入りましたら、おたよりで詳細をお知らせします。)

① 冬用の帽子での登園をお願いします。

12月9日(月)までにご準備いただき、準備のできた方からかぶって登園してください。

※冬季間、カラー帽子は園に置いておきます。

② ジャンパーはロッカーにかけやすいよう、掛けひもをつけてください。

③ 雪が積もったら、年明けからは雪遊びが始まります。

スキーウェア・手袋・長靴の準備をお願いします。ウェアはつなぎ型のもの、上下に分かれているもの、どちらでも構いません。(0・1・2歳児はつなぎ型でお願いします) お子さんが着脱しやすい物をご準備ください。

※全ての物に、ご記名をお願いします。



インフルエンザと診断されたら.....

インフルエンザは、症状が重くなりやすく、体力を消耗します。回復するまでしっかり休むことが大切です。

登園再開には、①と②の両方を満たしている必要があります。

また、登園前に、かかりつけのお医者さんに、登園できるまで回復しているか確認をお願いします。

①

発症した後
5日経過していること

②

熱が下がってから3日
経過していること
(熱が下がった翌日から数えて3日)



パターン1 熱がすぐ下がった場合

発症の翌日に熱が下がった場合、発症から5日経過するまで休みましょう。

パターン2 3日後に熱が下がった場合

発症から5日後、たとえ熱が下がっていたとしても、解熱した翌日から数えてまだ2日目なので、もう1日お休みしましょう。